

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	橋本 猛		
居室	西2 - 821		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hasimoto@ee.uec.ac.jp	http://borodin.ee.uec.ac.jp/~ckadai

【主題および達成目標】
技術系で一般的に使用されるC言語についてその使い方を学ぶ。 ポイントまでの基本的な使いの修得が目標。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータ・リテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
「C言語によるプログラミング[基礎編]」を参考書として勧める。

【授業内容とその進め方】

プログラミングは勉強するものではなく自分でプログラムを書くことによって習得していくもので、授業に出れば自然にできるようになるものではありません。特にBコースの場合にはプログラム作成の時間が少ないので、通常の意味での授業は行わず、課題に対する回答プログラム作成という形でプログラミング演習を進めていく。

不明な点についてはTAもしくは授業担当者に質問して下さい。

主な内容は以下の通り。(括弧内は予定する回数)

1. プログラムの基本概念 (1)
2. データ型, 式, 演算子 (1)
3. 制御構造, if, for, while, do-while (3)
4. 関数と変数 (2)
6. 中間テスト
7. 文字変数と文字列 (2)
8. 配列 (2)
9. ポインタ (1)
10. 文字列とポインタ (1)
11. 期末テスト

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポート提出点+中間テスト+期末テストの総計で評価する。

授業で扱った文法の基本が全て分かっているものを満点として、6割以上できているものを可とする。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日午後, もしくは土曜日二限目

【学生へのメッセージ】

PCの普及と高速化でプログラミングが非常に身近なものになっているが、プログラムは書ければ良いというものではなく、上手に書かれたプログラムはそれ自体で新しい資産となる。そのためには、C言語の機能を十分に知った上で、できるだけオーソドックスな書き方が必要になる。この授業ではC言語の使い方しか学べないが、どうしたら良いプログラムになるか工夫をして欲しい。

何度も繰り返すように、この授業ではC言語を授業として教えることはせず、課題に対するプログラミング演習という形で学んでいってもらおう。初めてで分からない所が多いと思うが、不明な点は授業担当者やTAに尋ねる姿勢がプログラミング技術取得の第一歩です。

【その他】